

第一次報告書の作成に寄せて

冒頭に、平成29年3月27日に発生した那須雪崩事故で亡くなられた7名の生徒と1名の教員の皆様に心から哀悼の意を表するとともに御遺族の皆様に心からお悔やみ申し上げる。また、怪我をされた方々の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

平成29年3月27日那須雪崩事故検証委員会（以下「当委員会」という。）は、本件事故の発生状況、課題等について検証を行い、事故の再発防止を図るため、平成29年4月11日に設置され、栃木県教育委員会や関係学校等における基本調査結果及び御遺族等の要望の内容等も踏まえ、栃木県高等学校体育連盟主催（主管登山専門部）の春山安全登山講習会の計画や内容、引率教員の雪山経験や指導歴、事故発生当日の行動や判断の状況、雪崩事故発生時及びそれ以後の救助活動や保護者等への連絡などの緊急対応、栃木県高等学校体育連盟及び各学校の対応などについて、追加の資料収集や現地調査と関係者の聞き取りを行った。本報告書は、当委員会でのこれまで検証結果を整理し、明らかになった事柄を、第一次報告として取りまとめたものである。

栃木県高等学校体育連盟は、昭和34年に高等学校の体育・スポーツの健全な発達を目的として結成され、三つの地域支部、35の競技別専門部、定通部及び三つの委員会で構成されており、全国的に活躍する種目も多く、長年にわたり体育・スポーツを通して有為な人材を育成し、県内外に輩出していると聞いている。競技別専門部である登山専門部は、当初は昭和31年に当時の栃木県学校体育連盟（高校部）の専門部として発足し、その後、現在の位置付けとなった。昭和49年に今市工業高等学校男子、昭和60年に真岡高等学校男子、平成5年に鹿沼東高等学校女子が全国高等学校総合体育大会で優勝するなど栃木県内の高等学校登山部は、優秀な活躍を続けてきており、各校において活発な活動が展開されてきた。事故が発生した春山安全登山講習会は、昭和33年より実施しており、安全登山に必要な知識や技術を習得させることを目的としている。残念ながら、その講習会の中で、本件事故が発生してしまった。

近年は、2022年国民体育大会の栃木県開催や2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定を契機として、県民のスポーツに対する関心が高まり、高校スポーツの持つ多彩な魅力と意義が一層認識されつつある重要な時期でもあり、今回の検証と提言に基づく安全対策を講じることは、将来及び現在の体育・スポーツに取り組む全ての生徒にとっての安全確保と充実した活動につながり、栃木県のみならず我が国の体育・スポーツ活動充実のためにも喫緊の課題であるといえる。極力、検証作業を急ぎたい。

なお、検証作業はまだ途上にあり、最終報告の作成に当たっては、今後の資料収集や検証によって、内容や資料の一部を加除修正することがあることを申し添えておきたい。

平成29年3月27日那須雪崩事故検証委員会 委員長 戸田芳雄
委 員 一 同